

日本山岳会山形支部 2018 年度公益清掃登山 山形大学附属上名川演習林記録

日 時 2018 年 7 月 1 日 (日)

参加者 山形支部会員支部長以下 9 名

野堀、木村、粕谷、武田、鈴木理、渡辺、佐藤映、佐藤一、竹永

産直あさひグーの駐車場に集合。好天に恵まれる。今日の目的地である山形大学演習林は、野堀支部長以外はほとんど訪れたことのない場所で参加者は興味津々である。野堀支部長から地図と資料が配布される。9 時前に出発。国道 112 号線を少し進んで、途中から右手に入る。管理舎に向かう途中で、野堀支部長から演習林の沿革に関する説明を受ける。上名川集落との関わり等興味深い内容であった。管理舎は 2 階建ての立派な施設である。施設の見学をさせてもらい、技官の方のご好意に甘え 2 台の車に分乗し車道終点まで送っていただく。道路は 4 輪駆動の車でないとやや厳しいぐらいの状態であるが、ぐんぐんと高度を上げていく。

10 時出発、10 時半谷地幅入口到着。三角点を確認し、展望台で月山を望む。上部は雲がかかっている状態である。演習林の面積は 753ha のことである。年平均最大積雪深は約 3m で、今年はこれをかなり上回る豪雪になったとのこと。広大な湿地の谷地幅では野堀支部長がドローンを飛ばし、間近でその性能の高さと多様な目的に使えることを感じた。モウセンゴケやコバイケイソウが見受けられる。コースは歩道の部分以外はピンクテープづたいに歩いていくことになる。全般的には藪がうるさくなく歩きやすい部類である。ブナの二次林は見事であり、高さがそろった広大なブナ林の景観は初めて目にするものであった。シオジ谷地の手前のブナ林の中で 12 時 10 分昼食休憩、45 分出発。シオジ谷地へは急な下りを降りていく。歩く木 (ヤチダモ) の話は非常に興味深く、樹木の持つ生命力を感じさせるものであった。下山をして車道に出るとかなり暑さを感じる天候となった。14 時到着。また、技官の方から迎えに来ていただき管理舎へ。ここの水は湧き水だそうで非常においしい。車で出発して上名川の佐藤家にて、ツキノワグマのクロちゃんを見学させていただく。年齢も高いせいか、おとなしく可愛らしいクマであった。幼い頃の様子や食べ物等の説明をしていただき、クロちゃんファンクラブの会員証を頂戴して解散。

今まで山を登りながら樹木に対する興味関心は、私の場合あまり高いものではなかったが、樹木の面白さを感じさせられた有意義な登山であった。

鈴木理夫 記